

2011年1月14日

白井市議会議員 多田育民様

北総線の運賃値下げを実現する会
会長 山下兼男

貴議員のHPや支持者の方へのメールで最近主張されていることが、京成電鉄の主張を無批判に受け売りしたものであり、実態に反し、当会の名誉にもかかわる表現がございますので、訂正をお願いするものです。

なお、本件は当会と貴議員との間の問題だけではありませんので、本メールを公開させていただきますことをご了承ください。

貴議員のご主張

ご自身のホームページで、『住民団体のチラシの中で「京成の不公平 線路使用料0円」であるとか、「京成電鉄は北総鉄道に1円も線路使用料を払っていません」と書かれていますので、少し訂正をしておきたい』として、『国土交通省が認可した、京成電鉄(株)が北総鉄道(株)に支払う線路使用料は、平成22年度は11億3100万円、平成23年度は15億1400万円となっていますので、念のためお知らせしておきます。』とされております。

当会のチラシ等で主張していること

当会のチラシなどでは「京成電鉄は北総の収入になっていた運賃を取り上げ(従来は北総の乗客だった人が、開通後アクセス特急に乗り換えるような場合、京成の収入となる)において、それを線路使用料という名目で北総鉄道に払う(返す)というのだから、実際には1円も払わないこと」だと説明しています。

また、京成の花田社長は、成田空港線の上限運賃認可申請についての公聴会で「京成が北総線上を走りだしても、北総の収支に影響のないように配慮している」という趣旨の説明をしています。つまり線路使用料という名目はあっても、北総の収入は従来どおりで変更がないということを、当事者が語っているのです。

以上ですが、当会としましては、このことを放置しておきますと、貴議員と貴議員の支持者のみなさんが「京成が線路使用料を事実上払わない」ことについてご存じないままになってしまうことを恐れるものです。

あらためて、HPの表現を正確なものとしていただけますようお願いするとともに、メールでの配信先にも訂正されるようお願いするものです。

参考までに線路使用料の特集号チラシを添付させていただきました。

以上